

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290200037		
法人名	株式会社 ヘルシーサービス		
事業所名	グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)		
所在地	千葉県千葉市花見川区畑町73		
自己評価作成日	平成23年12月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社アミュレット		
所在地	東京都中央区銀座5-6-12みゆきビルbizcube7階		
訪問調査日	平成23年12月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お客様の精神面の安定化及び生活したうえで日々の不安感や不満感を少しでも多く取り除けるようにと思っております。また、余暇活動の充実感を職員と共にあじわえる様に、食事準備や洗濯などの日常的な家事を一緒に実施したり、コミュニケーションを多く図るように意識しております。また、お客様・ご家族様・地域の皆様の健やかな暮らしに貢献できるようにと思っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「施設全体が輪になり、皆が楽しく安心して過ごせる環境を目指そう」をスローガンとして掲げ、職員間で共有できるよう努めている。今年度は利用者への支援について、利用者本位のサービスが提供できるように毎月の拠点会議を通じ職員の意識を高める事に取り組んでいる。地域との交流では、近隣からの介護に関する相談も増えてきており、今後は地域の方がホームに行き来できる関係を目指し、現在地域との交流充実に前向きに取り組んでいる。さらに利用者の余暇活動充実に向けても取り組み始めており、今後、さらなる支援の充実が期待できる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	情報共有ノートの活用や日々の朝礼及び定期的な会議にて再確認し実施している。	「施設全体が輪になり、皆が楽しく安心して過ごせる環境を目指そう」をスローガンとして掲げ、職員間で共有できるよう努めている。また、法人の経営理念、社是、心得を事務所内に掲示している。	全職員が、法人の社是、経営理念、心得、ホームのスローガンが共有できるよう、会議内で振り返る機会を設けるなどの取り組みが充実していく事に期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	前年よりは多くなってきてはいるがまだまだ満足のものではない。	地域とのつきあいでは、地域から介護に関する相談が増えてきている。また、中学生の職場体験学習の受け入れもあり、今後の地域交流充実に向け、前向きに考えている。	現在ホームでは、地域交流充実に向け前向きに取り組んでおり、ホーム内の花壇を使っての交流など、地域住民との交流が今後より充実していく事に期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	前年よりお散歩へいく機会が増えてはいるがまだまだ至らない。しかしながら、地域の方々からのご相談も増えてはきております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	皆様、ご遠慮なされておる感は見受けられますが、ご意見・ご要望に関してはできる限り積極的にには取り組むように心がけてはおります。	運営推進会議には、地域包括支援センター、家族の方が参加し、利用者情報やホームの取り組み、現状の課題を報告している。参加者についても今後は、自治会や近隣住民の方の参加も予定しており、会議内容の充実が期待できる。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	前年度よりはお相談も多くなってきております。また、最低でも月に1度は訪問させていただき、お話を聞いていただいております。	市の担当課との連携においては、月に1度市の担当課に出向き、利用者状況や市にどの程度相談が来ているのか確認するよう努めており、協力関係が築けるよう取り組んでいる。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日々の朝礼や定期的な会議及び研修にて情報共有しており、取り組めていると思いません。	身体拘束廃止に向けての取り組みでは、ホーム内において「身体拘束廃止研修」を実施し、職員の理解を深めている。現状、玄関の施錠も含め身体拘束につながる事例は発生していない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日々の朝礼や定期的な会議及び研修にて情報共有しており、取り組めていると思いません。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修に参加して学び、また、定期的な会議でも議題に取り入れております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	お客様・ご家族様が不安のないようにと心がけ、対応させていただいておと思っています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	法人全体でお客様アンケートを年2回実施し、また玄関にご意見箱を設置し運営推進会議の議題に繋がります。また、苦情相談窓口も設けております。	家族等がホームに対して意見を表出できる機会として、法人全体で顧客満足度調査を年2回実施している。また、契約時にホーム内外の苦情窓口を説明し、いつでも意見を表す事が可能である事を説明している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者による日々の情報共有及び定期面談により意見収集を実施しております。また、定期的な職員会議及び研修も実施しております。	職員からの意見に関しては、3カ月に1度定期面談を実施し、職員一人ひとりから意見を収集している。定期面談以外にも管理者が日頃から意見を聞き取り、悩み等の早期解決に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	社員登用制度やバックアップ制度も設けております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修等も援助制度を設け、積極的に参加するよう配慮しており、前回より多くの職員が研修等に参加しております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	前回よりも多くの職員が講習会や研修会には積極的に参加するよう努めております。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談を実施し、ご不安・ご要望等お聞きし安心してご生活頂けるよう努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前面談を実施し、ご不安・ご要望等お聞きし安心してご生活頂けるよう努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	様々なサービスがある中の1サービスであることはご説明させていただき、お話を伺っている際に他のサービスが良い場合にはご相談及びご紹介させていただいております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お客様は人生の大先輩であり尊敬の念をもち、日々のコミュニケーションにより多々学ぶこともございます。職員もお客様には安心をご提供すると共に、共に楽しく過ごすをモットーに日々過ごしていると認識しております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設にお越しいただいた際や電話にて対応はしております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出きる限りは実現していきたいのですが、まだまだ出向くという状況まで至っておりません。	ホーム入居後においても、馴染みの人や場所との関係が途切れないように、友人の来訪の受け入れや家族の協力を得て外出や外泊ができるように支援し、これまでの関係の継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体的な支援は当然ながら、精神的な支援に重きを置いております。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご本人様及びご家族様にご迷惑がない程度にはお付き合いはさせていただいております。また、ご利用しなくても遊びに来ていただくようお願いさせていただいております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の朝礼や会議にて職員本位の支援ではなくお客様本位の支援を徹底するように啓蒙しております。また、コミュニケーションを徹底し、充実した余暇活動をお過ごしいただけるようにと思っております。	利用者一人ひとりの思いや意向に関しては、日常会話からの聞き取りのほか、ケアプラン作成時のアセスメントにおいて、現状の課題を抽出し、利用者の状態に即したケアプランにつなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回アセスメントを元に、日々のコミュニケーションの中で頂く情報を職員内にて情報共有しております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の朝礼や会議にて情報共有し、また、モニタリングの実施にて管理者やケアマネージャーからの情報提供しております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング及びサービス担当者会議及び職員会議にて実施しております。	ケアプラン作成にあたり、担当者会議において職員からの意見を収集している。家族に説明する際には、家族の要望も収集している。ケアプランで掲げた目標の達成状況についてはモニタリングで確認している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人台帳を保管し日々の日誌を随時ファイリングしており、台帳を基に日々の朝礼や会議にて検討しています。また、見直しが必要な際は介護計画の見直しを実施しております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の情報共有や定期的な会議等によく話し合い、柔軟な支援という考えになってきております。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	前回よりは近隣の方々や自治会との交流も増えてきております。ただ、まだまだだと思っており、今後も意識して取り組んでいく次第であります。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居見学や事前面談の際に提携医療機関の設置をご説明しております。ただし、強制ではなくお客様のかかりつけ医があれば、お客様が安心して生活できるよう関係構築していきます。	提携先医療機関による往診が各ユニット隔週で実施している。担当医とは、常に連携を図っており、利用者の体調変化時には迅速に対応できる体制としている。専門外来への受診は家族に協力をお願いしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	提携医療機関の主治医や看護師とは良好な関係であり、定期的な往診以外でもご相談させていただいております。緊急時でも往診に来ていただいたりし、体制整備されております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご家族様・ご本人様、職員等が不安のないように訪問し、カンファレンスに参加したり、電話にてMSWやナースセンターと情報交換しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	お客様では発生はしておりませんが、提携医療機関には、今後のために相談したりしています。	重度化や終末期に向けた方針に関しては、ホームとしてできる事、できない事を早い段階で家族に説明し、特に重度化を迎えた際には、家族、医療機関と連携し、今後の方針を話し合うこととしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な会議や研修の議題に取り入れてます。また、日常生活の中で不安があれば、提携医療機関に相談しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な会議や研修、日々の朝礼等で話しております。不安要素としては、地域の方々との連携がどこまで上手くいくのかは不安です。	災害時の対策については、毎月の拠点会議で話し合う場を設け、災害時における対応について職員間で共有している。また災害時に備え、備蓄品についても整備し、災害時に備えている。	ホーム全体における避難訓練や通報訓練、初期消火の対応等今後計画に沿って定期的に訓練が実施されることに期待したい。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は十分に心得てはいるが、まだまだ突発的に意識不足な支援をしている感が見受けられるため整備しております。	利用者のプライバシーの確保に向けて、ホーム内研修において「倫理」を取り上げ、不適切な対応が生じないように取り組むほか、声かけに関しても利用者主体の声かけができるように、日々確認し合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お客様本位の支援を心がけ、日々のコミュニケーションや状態観察にて出きる限り実施しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	十分に心がけて支援しておりますが、より改善・拡大できるようにと思っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	まだまだ至らない点もある為、今後も引き続き意識していきます。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員もお客様と共に過ごしているという思いが強くなり、前回よりは多くのお客様が食事の準備や後片付けをなさっております。	食事の準備では利用者の参加も促し、職員と一緒に準備ができるように支援している。食事後の後片付けにおいても利用者と一緒に取り組み、利用者の主体性を配慮し支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士がいる外部機関に食事メニューや食材発注しております。また、提携医療機関とも情報交換しております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは徹底しております。出きる限りは歯ブラシで実施していただいておりますが、ガーゼ対応をする場合もあります。		

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	日々の個人日誌を基にお客様の情報を共有し、自然排尿・排便がトイレで行えるように思っております。	利用者一人ひとりの排泄状況を職員間で共有しながら、日中においては、定時の声かけや誘導により、トイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	提携医療機関や薬剤師に相談し、排便コントロールしているお客様もおります。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	夜間の入浴は習慣にはなっていませんが、日中はお客様のご要望の時間とて対応しております。	入浴については、利用者の要望や体調を考慮し、利用者のペースで入浴できるように支援している。入浴の拒否が見られた際には、無理強いせず、時間をおいて声をかけるなどの対応を図っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お客様が安心してお過ごしいただけるように心がけて支援させていただいております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	提携医療機関や薬剤師に相談し対応しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	前回よりは実現できていると思います。今後もコミュニケーションを図りながら拡大していきたいです。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	お散歩の機会や日向ぼっこの機会を多くと思っております。しかしながら、お客様のご要望の場所まではいけないのが実際です。	外出については、天候や気候の良い日にはホーム周辺の散歩に出かけたり、ホーム2階のベランダを活用し日光浴の機会を提供している。今後は戸外活動の充実に向け、外出行事の計画も予定している。	戸外活動の充実に向け、現在検討中であるが、日常的に外に出る事ができるような機会を今後増やしていき、生活の幅が広がっていく事に期待したい。

グループホームガーデンコート千葉さつきが丘(2階)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いとしてお預かりはしておりますが、自動販売機にて飲料水を購入したり、近隣へお買い物に行くようには努めておりますが、もっと機会を増やしていきたいと思っております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様のご要望があれば支援させていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	十分に意識し、出来る限りの配慮をさせていただいておりますがまだまだ至らない点もあるかとは思っております。	リビングスペースには、行事の写真や利用者と一緒に作成した作品を掲示している。日差しの調整も適宜行い、利用者に不快感が生じないよう配慮している。トイレや浴室も清潔に保ち、衛生面も配慮している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	時折テーブルの位置を変えたり、ソファーにてお過ごしいただけております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご入居の際に、馴染みの物を使用して頂けるようにご説明し、お持ちより頂いてます。ご入居後もご本人様及びご家族様とはお話をさせていただきながら模様替え等も実施しております。	居室には利用者がこれまで使用していた馴染みの物を持ち込めるようにし、居室内においても居心地良く過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	会議等でケース検討し実施しております。		